

労働市場改革専門調査会の設置について

平成18年12月20日
内閣府

1. 目的

- ・働くひとりひとりが働きがいと意欲を持ち、かつ経済活力が維持されることを目指し、今後10年程度の中長期的な労働市場改革のあり方を検討する。
- ・具体的には、長期的な労働力人口の推移やグローバル化の一層の進展を踏まえ、複線型でフェアな働き方の実現、人材の育成・活用等、労働市場の包括的・抜本的な改革のあり方について検討する。
- ・このため、11月30日の経済財政諮問会議の決定に基づき、経済財政諮問会議に「労働市場改革専門調査会」を設置し、以上のような労働市場改革のあり方について審議する。

2. 専門調査会の構成

会長	八代尚宏	経済財政諮問会議議員
専門委員	井口 泰	関西学院大学経済学部教授
〃	大沢真知子	日本女子大学人間社会学部教授
〃	小嶋典明	大阪大学大学院高等司法研究科教授
〃	小林良暢	グローバル産業雇用総合研究所所長
〃	佐藤博樹	東京大学社会科学研究所教授
〃	中山慈夫	弁護士
〃	樋口美雄	慶應義塾大学商学部教授
〃	山川隆一	慶應義塾大学大学院法務研究科教授

3. 今後の予定

専門調査会は、経済財政諮問会議に対して随時報告を行うこととする。